



HDMI ver. 1.3a

「AQUOS」「VIERA」「REGZA」とシステムリンクする 使いやすさも高品位な本格シアタースピーカーラック

CB-SP1380

シアタースピーカーラック AV・GATEシリーズの最新モデルでも、同時期に発売されるAVセンターシリーズと同様に他社製品とシステムリンクするRI HD機能を強化し、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)、パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」と連動動作できるようになりました。CB-SP1380をベースに高性能オプションサブウーファー DHT-9HDを組み合わせることにより、より使いやすく高品位なシアターラックシステムを構築できます。またTVサイズの大型化に伴い、TVラックは背の低いローワイドなタイプが求められます。そこでオンキヨーは、音質的に不利とされるワイドスピーカーの開発に敢えて挑戦。素材、パーツの選択からその成形方法、形状まで理論解析とヒアリングを繰り返して決定し、低音のエネルギー感豊かなワイドトラック型のスピーカーユニットを新たに開発しました。使い勝手のよいシンプルなシステムで大型TVの感動をもっと深めたいユーザーへ提案いたします。

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND **ONKYO**[®]

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 販売促進グループ 山本誓一 TEL.072-831-8005
 写真画像はこちらから www.jp.onkyo.com/ の「New Products」より当製品をクリックください
 掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



CB-SP1380

シアタースピーカーラック

オープン価格 4月26日発売予定

- 高性能オプションサブウーファー DHT-9HDを組み合わせると、ハイビジョンTVとのシステムリンクが実現
- 超薄型構造で13cm大口径ウーファーに匹敵する力強い低音再生。新開発「30×4cmワイドトラック型ウーファー」
- フレームなどを薄型最適化。クリアな高域再生を実現する「2.5cmバランスドームツイーター」
- センタースピーカーを搭載して明瞭なセリフを再現、感動的な映画再生を演出
- セリフなどの微細なニュアンスも再現。ウーファー/ツイーター独立の2ウェイ構成
- 映画館のスクリーン裏に配置されたスピーカーと同様に、フロント3chスピーカーを同一線上に配置
- 手間隙をかけた塗装と磨き工程を経て完成。高級感あふれる高光沢ピアノ仕上げ

定格インピーダンス

6Ω

定格周波数範囲

50Hz～50kHz

キャビネット内容積

センタースピーカー部：7.3リットル フロントスピーカー部：7.3リットル×2

最大外形寸法

幅1380×高さ447×奥行き436mm

質量

42kg

付属品

スピーカーケーブル×3、スピーカーコードホルダー×4

防磁設計 (JEITA)

再生にはオプションサブウーファー DHT-9HDが必要です。



DHT-9HD
5.1chアンプ内蔵サブウーファーシステム
オープン価格 4月26日発売予定

- TVのリモコン1つで他社製TVと本機を加えたシアターラックシステムがシステムリンク
- フルスペックハイビジョン(1080p)、現行ハイビジョンの色深度を超えるディープカラーの映像伝送に対応
- 最新のサラウンド音声を再現できる「ドルビーTrueHD」、「DTS-HDマスターオーディオ」デコーダー
- 高品位バーチャルサラウンド機能「Theater-Dimensional」&「DTSサラウンドセンセーション」
- グランド電位の安定化技術、特許技術回路「VLSC」など培われた音質技術を投入
- 高品位な低音増強を可能にするバスレフ技術「エアロ・アコースティックドライブ」
- 小音量時にサラウンド効果を高める「Audyssey Dynamic EQ」
- オートスピーカーセットアップ「Audyssey 2EQ」機能

実用最大出力	30W×5ch+60W(6Ω、JEITA)
ユニット	16cm OMFコーン
HDMI端子	入力:2 出力:1
音声入力端子	デジタル3、アナログ2
最大外形寸法	幅207×高さ325×奥行き327mm
質量	10.6kg
付属品	リモコン、光デジタルケーブル

サラウンドスピーカーの出力端子も装備していますので別売オンキョースピーカーを2個接続して、よりリアルな5.1ch環境にシステムアップしていただくことも可能です。

主なテクノロジー

TVのリモコン1つでラックシステムがシステムリンク

CB-SP1380は、フルスペックハイビジョン(1080p)の映像や次世代サラウンド音声まで伝送できる「HDMI ver.1.3a」搭載の高性能オプションサブウーファー DHT-9HDと組み合わせれば、他社のTV製品などとTVのリモコン1つで電源連動や音声出力の切換え、ボリューム調整などの主要操作がシステム的にリンクする、使いやすくて音質に優れた高品位なシアター環境を構築できます。

オンキヨーはこれまで培ってきた製品間の連動機能(RI: Remote Interactive)をベースに、次世代のインターフェースとして普及するHDMI端子を活用した「RI HD」機能を追求しています。



連動動作する他社対応機種

●シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)、パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」との接続による連動動作

振動板素材から設計するスピーカーユニット

オンキヨーはスピーカーの心臓部と言われるスピーカーユニットを振動板の素材開発から行っています。フロント3ch分のスピーカーをもつCB-SP1380においても同様の設計思想で取り組み、中低域を担うウーファーと高域のツイーターを独立させ、細やかなニュアンスもしっかりと再現する2ウェイ構成を採用しています。



新開発「30×4cmワイドトラック型ウーファー」

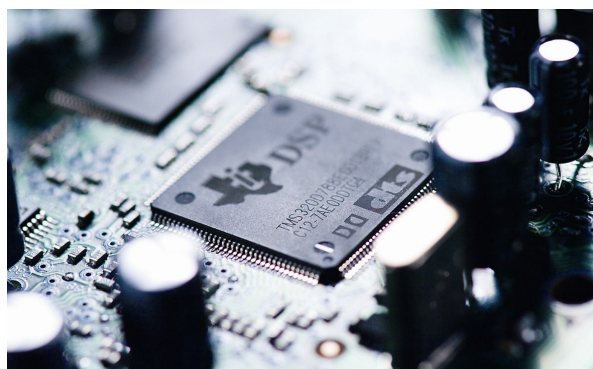
超薄型構造のスピーカーで力強い低音再生を実現するため、ワイドトラック型ウーファーを新たに開発しました。低音再生にはより多くの空気を振動させる必要があります。そのため30×4cmの広い振動板面積をまず確保し、特殊な真空成形法や理論解析とヒアリング検証によって得られた最適なリブを設け、剛性を高めています。これにより、分割振動などが発生しやすく音質的に不利とされていた細長い形状での難題を解消しました。またエッジやダンパーにも再生帯域を拡大するノウハウを投入し、ツインマグネット採用の強力な磁気回路を採用。サイズからは想像できないエネルギー感あふれる低音再生を実現します。



主なテクノロジー

ブルーレイディスクの最新サラウンドを再現

最大でDVDの約10倍もの容量をもつ先進のブルーレイディスクには、より情報量の多い高密度な映像や音声データを収録することが可能です。オプションサブウーファー DHT-9HDは最新の音声規格「ドルビーTrueHD」、「DTS-HDマスターオーディオ」に対応したデコーダーを搭載していますので、従来のサラウンド音声はもちろん、次世代ディスクに収録された最新サラウンドの音声も再現できる高品位な仕様を備えています。



発展性にもつながる専用の収納スペースを装備

CB-SP1380には、DHT-9HDを収納できる専用のセンターBOXを装備しています。省スペース化を図るだけでなく、例えば将来最新のオプション機器を使用しなくなった場合でも入れ換えられるというように、発展性にもつながる仕様となっています。

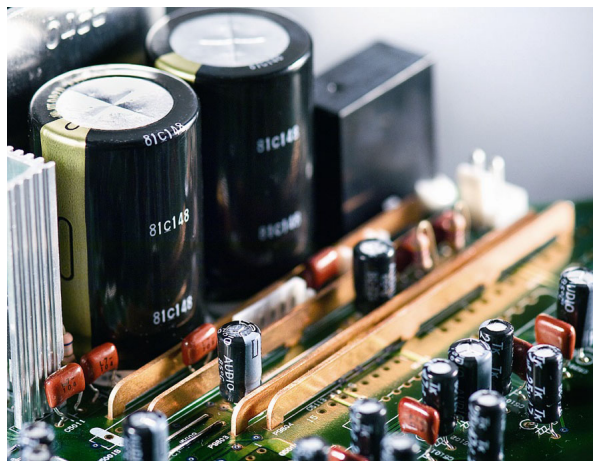


DHT-9HD収納時

主なテクノロジー

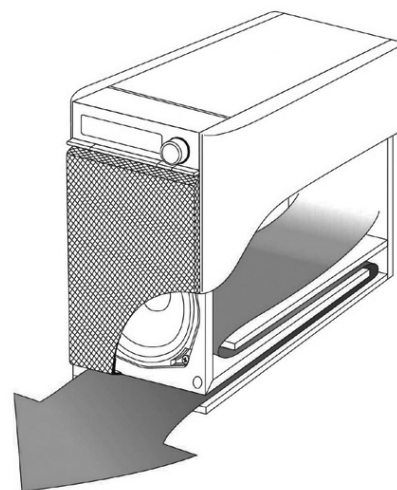
電源供給能力の向上と安定した増幅動作を実現

グラウンドを含めた電源回路に銅バスプレートを実装して、電源のエネルギーをストレートにスピーカーへ送り込めるように配慮しました。この部分のインピーダンスが高い場合、動作安定性に影響を及ぼすため、電力ラインには極めて低いインピーダンスが要求されるからです。音声信号の大きさの基準となるグラウンド電位の変動は、音の正確な表現を阻害してしまいます。そこで、体系化されたグラウンド安定化のノウハウをもとに、グラウンドに各回路の電流が流れてもその電位が変動しない回路構成や、プリント基板のパターン設計を新たに開発し、安定した増幅動作を追求。より豊かな重低音のエネルギー感も獲得しています。



高品位な低音増強を可能にするバスレフ技術

バスレフはキャビネット内で発生した空気振動エネルギーを放出して、低音再生を増強する技術です。一般的に採用される丸型円筒ダクトの形状ではキャビネット内部で発生したノイズを放出しやすいため、微細なニュアンスの表現力が欠けた低音を再生してしまいがちでした。DHT-9HDには、独自のスリット形状と構造を採用したバスレフダクト「エアロ・アコースティックドライブ」を採用。自社生産にこだわる高級振動板OMFコーンによるスピーカーユニットの実力を活かして、ノイズの発生を防ぎ小音量でも質感を伴う豊かな重低音を再生します。



商標について AQUOSファミリンクは、シャープ株式会社の登録商標です。レグザリンク、レグザは株式会社東芝の商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。